

厚生労働科学研究費補助金（慢性の痛み対策研究事業）
分担研究報告書

介護職員の腰痛実態調査についての研究

研究分担者 川上 守 和歌山県立医科大学附属病院紀北分院整形外科 教授

研究要旨

本研究の目的は、介護職員の腰痛の実態をアンケート調査し、介護職員の腰痛発生の要因を把握することである。介護職員 98 人（男性 21 人、女性 77 人：平均年齢 42.3 歳）を対象に、Roland-Morris Disability Questionnaire (RDQ、腰痛による日常生活への障害度の測定)、Self-Rating Questionnaire for Depression (SRQ-D、仮面うつ自己評価表)、日本整形外科学会腰痛評価質問票 (JOABPEQ)、Short Form 36-Item Health Survey (SF-36、包括的健康関連 QOL の測定)、腰痛 Visual Analog Scale (VAS)、平成 23 年度厚労省慢性の「痛み対策研究事業」で作成した生活状況質問票を用いてアンケート調査をおこなった。まず、腰痛あり群 (65.3%) となし群を比較検討した場合、腰痛あり群では、機能的障害と SRQ-D の点数が高く、JOABPEQ の心理的障害、SF-36 の GH: 全体的健康感、MH: 心の健康の点数が有意に低かった ($P < 0.05$)。また、睡眠障害や就労上の問題などが腰痛あり群で有意に低かった ($P < 0.05$)。次に、腰痛あり群をヘルパー 1 級・2 級・3 級の群と介護福祉士の群を比較検討した場合、ヘルパーの群が身長、睡眠障害、事故の既往で有意に高く ($P < 0.05$)、さらに喫煙歴、痛みを訴えていることへの家族が理解を示しているかの項目で有意に低かった ($P < 0.05$)。これらの結果から、介護職員の腰痛発生の要因を評価するには、器質的要因だけではなく、心理社会的要因にも着目する必要がある。

A. 研究目的

介護職員の腰痛の実態をアンケート調査し、介護職員の腰痛発生の要因を把握することである。

B. 研究方法

介護職員 98 人（男性 21 人、女性 77 人：平均年齢 42.3 歳）を対象に、Roland-Morris Disability Questionnaire (RDQ、腰痛による日常生活への障害度の測定)、Self-Rating Questionnaire for Depression (SRQ-D、仮面うつ自己評価表)、日本整形外科学会腰痛評価

質問票 (JOABPEQ)、Short Form 36-Item Health Survey (SF-36、包括的健康関連 QOL の測定)、腰痛 Visual Analog Scale (VAS)、平成 23 年度厚労省慢性の「痛み対策研究事業」で作成した生活状況質問票を用いてアンケート調査をおこなった。腰痛があると回答した群となしと回答した群に分け、統計学的に比較検討した。腰痛があると回答した群の中で介護職員をヘルパー 1 級・2 級・3 級の群 (51 名中 34 名、66.7%) と介護福祉士 (47 名中 30 名、63.8%) の群に分け比較検討し有意水準 5% を有意差ありと判断した。

本研究は、すべての被験者に参加の同意を文章により得た。

C．研究結果

まず、98人中64人(65.3%)が腰痛ありと回答した。腰痛あり群と腰痛なし群で比較検討した場合、両群の年齢、性に差はなかった。腰痛あり群では、機能的障害が認められ、SRQ-Dの点数が高く、JOABPEQの心理的障害、SF-36のGH:全体的健康感、MH:心の健康の点数が有意に低かった($P < 0.05$)。また、平成23年度厚労省慢性の「痛み対策研究事業」で作成した生活状況質問票からは睡眠障害や就労上の問題などが腰痛あり群で有意に低かった($P < 0.05$)。次に、腰痛あり群をヘルパー1級・2級・3級の群と介護福祉士の群を比較検討した場合、ヘルパーの群が身長、睡眠障害、事故の既往で有意に高かった($P < 0.05$)。さらに平成23年度厚労省慢性の「痛み対策研究事業」で作成した生活状況質問票からは、喫煙歴、痛みを訴えていることへの家族が理解を示しているかの項目で有意に低かった($P < 0.05$)。

D．考察

介護職員の腰痛の有無には器質的な要因が考えられるが、それ以外に心理的な要因が関

与している可能性が考えられる。

E．結論

介護職員の腰痛発生の要因を評価するには、器質的要因だけではなく非器質的要因である、心理社会的要因に着目する必要がある。

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G．研究発表

1.論文発表

なし

2.学会発表

1)森下詔子、田所真紀、北川智子、堀江佳代子、松岡淑子、中尾慎一、石元優々、川上守. 介護職員の腰痛実態調査. 第21回日本腰痛学会, 2013. 11. 東京

H．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし

